

令和3年度 第10回 若葉区区民対話会概要  
「選挙への関心を高め投票率を上げるには」  
(植草学園大学・短期大学)

1 区長挨拶

2 自己紹介 (学生)

3 意見交換

<投票に行った理由は？>

(学生)

- ・高校生のときに投票に行ったが、単純に選挙がどういう仕組みなのか興味があった。以前経験した模擬選挙どおりなのか確かめたかった。
- ・祖父母の世代に、人生経験として行った方が良いのではと勧められた。
- ・親の付き添いで小さい頃から投票所へ行っていて、選挙が身近だった。
- ・元々興味があり、母と一緒に投票に行った。
- ・母に、権利があるなら投票すべきと言われた。  
⇒(区長) 家族にすすめられ、もしくは家族と一緒に投票所へ行った経験がある人の中に、実際の選挙時にも投票に行った人が多いという印象を得た。

<投票する候補者を選んだ理由は？>

(学生)

- ・当時は政治のことはわからず、聞いたことある名前の人に投票した。
- ・公約はよくわからなかったが、雰囲気などで選んだ。
- ・2回目以降は、ネットで少し情報を調べてから行った。
- ⇒(区長) 当選したら、その人がどんなことをしようとしているのかという視点が重要だと思う。投票所には候補者の氏名などしか記載がないので、事前に情報を調べる必要がある。情報収集手段として選挙公報(紙媒体)はあるが、近年はネットを活用する人も多い。

## <投票に行かなかった理由は？>

(学生)

- ・家族が投票に行ったことがないと思うので、いつどこで投票ができるか全然知らなかった。入場整理券が届いていたかもわからない。
  - ・アルバイトの当日が投票日であることを知った。興味はあったが、日程を知らなかった。
- ⇒(選(=選挙・統計班主査))入場整理券があると受付はスムーズだが、仮になくしても投票の権利はあるので、その旨を投票所で申し出ていただければ投票できる仕組みになっている。投票できる場所は、投票日当日は指定の1か所(最寄りの小学校など)のみだが、期日前投票は若葉区役所とイコアス千城台でできる。(ただし若葉区で投票できるのは若葉区民のみ。)

(学生)

- ・誰に投票して良いかわからない。
- ⇒(選) ネットでの選挙運動が解禁されており、候補者も様々な制約はあるものの情報を発信しているので、参考に見るのも手だと思う。

## <どうすれば投票率を上げられるか？>

(学生)

- ・コミュニティセンターの利用無料券や、地元で使える割引券など、地域密着の特典などがあれば、世代を問わず投票率が上がるかもしれない。

(学生)

- ・候補者の名前はわかっても、具体的にどんなことをしたいのかわかりにくい。駅でビラを配っていない人は何をしたいかわからない。その人の思いや考えが伝わらないと投票できない。「明るい未来」と書かれてもよくわからない。たとえば「駅前に～～を作ります」とか、短くてもいいので書いてくれれば有難い。
- ⇒投票所内は名前など以外の候補者のマニフェスト等を掲示することはできない。  
選挙公報が投票所の外でなら閲覧できるので、係員に声をかけてほしい。
- ⇒選挙公報を事前に見たい。ネットで見られるようになると良い。
- ⇒(区長)選挙公報は、県や市の選挙管理委員会のホームページでも掲載しているが、もっと皆さんに見ていただけるよう周知していきたい。

(学生)

- ・駅前で演説している候補者がいるが、駅は通勤・通学で一時的に通る場所ではない。30分間話されても、その間ずっと駅にいられるわけではない。
- ・「駅に～～をつくる」と言われても、住んでいないところだと自分には関係ないと思っ

てしまう。たとえば自分だったら保育に興味がある。興味がある分野の話を聞けると良い。

(学生)

- ・候補者と若者が会って話すような機会(懇談会など)があれば、その人の人柄がわかる。
- ・若者の投票率を上げたいのであれば、学校などに選挙関連のものを貼ったり説明の機会があったりすると良い。
- ・学校で選挙について、みんなで話し合う場があれば良い。

(学生)

- ・授業だけではなく、興味を持つきっかけが必要。マニフェストをもっとかみくだいた一覧表みたいなものがあると良い。
- ・You Tube の広告など、若者がよく見るツールに宣伝の動画が流れると効果がある。

(学生)

- ・学生は学業以外にアルバイトなどもあるので、投票に行く時間があまりない。ネットで投票できるようになると良いと思う。
- ⇒(選) ネット投票は現状、本人認証をどうするかなど、セキュリティ面での課題が大きい。

(学生)

- ・小学生のころに、20歳になったら選挙で投票ができると社会科で学んだ。中学校でも生徒会選挙で投票箱を使い、体験型で意識を持った。授業の中で見て聞いて体験することが大事だと思う。
- ⇒(区長) 体験は大事。投票する側も良いが、たとえば生徒会で手をあげて自ら候補者になって自分の想いを多くの人に伝える経験を試してみるのも良いかもしれない。
- ⇒(選) 千葉市でも小学校5・6年生を対象とした模擬選挙を実施している。生徒会選挙に本番の選挙で使う記載台や投票箱を貸し出しており、実際にそうしたものに触れてもらうことでイメージを広げていただきたい。また選挙への参画ということで、ぜひ期日前投票の立会人を学生の皆さんに経験してほしいという考えもある。機会があれば是非お願いしたい。

以上